

平成 29 年度第 1 回高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議の要旨

日 時：平成 29 年 9 月 4 日（月）18：30～19：30

場 所：高知共済会館 4 階 浜木綿

出席者：委員 12 名

今年度から、新たに高知県病院薬剤師会の八木委員、高知県臨床検査技師の中村委員がネットワーク会議の委員に加わったこと、今回の会議から福祉保健所も関係機関として参加することについて、事務局より報告を行った。

議 事

1 平成 29 年度高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク事業について

事務局より、資料に沿って説明があった。

<委員からの質問・意見等>

- ① 災害時における感染対策を検討するワーキング設置の検討については、今年度積極的に取り組んだらどうか。具体的に I C N ネットワークの会で検討できるようにしたい。
- ② Q：医療関連感染対策相談対応事業を災害時の感染管理に活用するとの説明があったが、この内容だと、災害時の活用はできないのではないかと。
→ A：（事務局）現在、保健所、医療機関、市町村、施設等で災害への準備を行っているので、現在できる取組として、発災時の支援ではなく災害時への準備を行うなかで、感染管理の専門家に相談したいことがある時にこの事業を活用してもらおう方向で考えている。
- ③ AMR 対策については、薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの成果目標が達成できるように、高知県感染対策・サーベイランス研究会と合体して取り組んでいけたらと考えている。

結 論

- 医療関連感染対策相談対応事業の対象に社会福祉施設や市町村を加え、災害時の感染管理の備えの相談についても活用する方向で調整を行う。
- AMR 対策については、薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの成果目標が達成できるように取り組んでいく。

2 高知県医療関連感染対策相談対応事業について

<説明（高知市保健所）>

- ・高知市エリアの病院より環境整備の対策が適切かどうかとの相談があり、予め決めている順番に沿って I C N の方に回答案の作成をお願いし、メーリングリストで他の 7 名の I C N の

方から意見をいただき回答した。

3 医事薬務課ホームページの掲載内容について

ホームページの修正及び医療関連感染対策のバナー作成、Q & Aについて、事務局より資料に沿って説明があった。

結 論

- ▶ 医療関連感染対策のバナーにカツオ人間のキャラクターを使用して良いか、川村委員が確認し、了解があれば現在のバナーと差し替える。

4 エリアネットワーク活動について

<平成 28 年度の取組の報告（安芸エリア）>

- ・病院と診療所を対象とした院内感染対策に係るアンケートの結果を受け、実技講習を取り入れた研修会を実施し、研修会終了時のアンケート調査も行った。目的の一つとしていた顔の見える関係作りに一定の成果をあげることができ、医療関連感染対策相談対応事業の正式なルートでの相談ではないが、参加機関から直接エリア内の I C N に院内感染対策についての相談があるなど、手ごたえのある事業ができた。あき総合病院と管内の病院とは合同カンファレンスでつながりはできていたが、診療所も含めたことにより、潜在的に感染対策で困っていることが分かった。研修会の参加率が 34% に留まったため、不参加の施設に対しても情報発信を行い、参加率の向上とともに、院内感染対策及び院内感染対策相談対応事業の体制構築を図る。

<今年度の取組についての報告>

①安芸エリア

- ・10月13日に研修会を予定している。内容は要望の高かった医療機器の洗浄・消毒・滅菌方法の講演・実技と、病院で調べてもらった耐性菌についての情報提供、意見交換を行う。

②中央東エリア

- ・9月9日に病院・医科診療所・歯科診療所を対象に研修会を予定している。内容は院内感染対策の基本で、最初からグループ分けをしておき、ディスカッションする形式で行う。年度内に1～2回、同じ形式でインフルエンザとノロウイルス対策の内容で研修会を予定している。

③高知市エリア

- ・高知市エリア医療関連感染対策地域支援ネットワーク検討会は、今年度も3回予定している。研修会は、10月22日に今年度も立入検査を行っていない医科診療所の職員を対象に開催する。昨年度は I C N との顔の見える関係作りのため、全員に講演をしていただいたが、

今年度は院内感染対策の基本について3つの内容に絞って講演いただき、意見交換を行う。

④ 幡多エリア

- ・ 幡多地域感染管理ネットワーク（メーリングリスト）で感染症の情報共有を行っている。研修会については、昨年度に引き続き介護施設を対象に今年度も研修会を企画する方向で、近々保健所に相談する。AMR対策については、加算1・2の病院と当院、地域薬剤師を中心に行う予定。

結 論

- 今年度も全てのエリアでエリアネットワーク活動の取組を継続する。

5 高知県医療関連感染対策研修会について

事務局より、資料に沿って説明があった。

結 論

- 平成29年度第2回高知県医療関連感染対策研修会については、会長、副会長、ICNのメンバー、事務局で検討する。

6 その他

<説明（委員）>

- ・ 高知県感染対策・サーベイランス研究会について、薬と抗菌薬の関係を抗菌薬の使用量を踏まえて調査し、どこまで耐性菌を誘発しているのか評価するために、大腸菌と緑膿菌の感受性株の割合の評価、カルバペネム、ペニシリン、キノロンのAUDの評価を行っている。開始後1年半から2年が経過した。大きな5病院では大きな変化はないが、中小の病院は差があり、幡多地域の方が耐性菌は少ない。データを蓄積し、医療関連感染対策地域支援ネットワーク事業を活用し、発表、報告ができればと思っている。

<説明（高知市保健所）>

- ・ 地域保健総合推進事業のAMR対策研究班の事業で、各地の先進的な取組として、高知県の取組を報告させてもらう。他の各地域の取組について、お話しできることがあれば、この会議で報告したい。

事務連絡

- ・ 高知県医療関連感染対策相談対応の手順の中に記載されている拠点病院等相談窓口について、幡多けんみん病院の濱田さんを追加し、福祉保健所・高知市保健所、医事薬務課の窓口担当者を変更した。
- ・ 平成29年度第2回医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議の日程調整は、メーリングリストで行う。